

# 学 校 案 内

## ■ 学校の概要 ■

### 本校の教育目標

自ら求めて学び  
すすんで社会に貢献する  
人間性豊かな生徒の育成をめざす

#### ◎ 本校の沿革

本校は、宮崎大宮第二高等学校定時制夜間部、宮崎大宮高等学校通信教育部を前身に、昭和 49 年宮崎県立宮崎東高等学校として発足した学校です。現在は通信制課程普通科、定時制課程昼間部普通科、定時制課程夜間部普通科を併置した単位制高等学校です。

#### ◎ 本校の位置

本校は、宮崎神宮の南に位置し、宮崎大宮高等学校の南に隣接する学校です。近くにメディアキット県民文化センター、県立美術館、県立図書館が設置された文化公園があり、静かで、落ち着いた学習環境にあります。校舎は主に 4 階建て 3 棟と体育館から成り、各種の特別教室(家庭科・理科・視聴覚・情報処理・芸術科)、図書室等があります。

#### ◎ 通信制課程の特徴

- (1) 自宅でのレポート(報告課題)作成を中心とする「自学自習」が原則です。
- (2) 働きながら学びたい人や毎日の通学が難しい人に対応できます。
- (3) 幅広い年齢層やさまざまな職業の生徒が学んでいます。
- (4) 多くの選択科目が設けてあり、一人一人に適した学習ができます。
- (5) 個性を生かし、一人一人を大切にします。

# ■ 通信制の学習 ■

## ◎ 教科・科目の学習

自宅での学習が中心です。

レポート(報告課題)、スクーリング(面接指導)、テスト(試験)が、学習の3本柱です。

### ○ レポート(報告課題・添削指導)

教科書、学習書、高校講座(テレビ・ラジオ)などで学習し、各科目のレポートを年間4回～12回提出します。

提出されたレポートに、各科目の担当教師が目を通し、誤りを正し、ヒントを与えて返します。このような指導を添削指導といいます。

### ○ スクーリング(面接指導)

教科書、学習書だけでは十分に学習することがむずかしいので、登校して直接指導を受けます。このような指導をスクーリングといいます。

- (1) 日曜日に、本校(宮崎市)の他、3つの協力校(都城泉ヶ丘高校、小林高校、日南高校)で行われます。どこでもスクーリングを受けられます。
- (2) 本校では月曜日にも行われます。(月2回程度)
- (3) 科目ごとに必要な出席時数が決められています。また、一部をNHK高校講座を視聴することによって代替できる科目もあります。

### ○ テスト(試験)

テストは、前期・後期の2回実施します。

## ◎ 教科以外の活動

ホームルーム活動、生徒会活動、歓迎遠足、スポーツフェスティバル、文化祭等があります。(6ページ参照)

# ■ 本校の教育課程 ■

## ◎ 単位制

単位制高校とは、学年による教育課程の区分を設けず、修得した単位を累積し、下記の「卒業の条件」を満たすことによって卒業できる高校です。次のような単位は卒業に必要な単位として認めますので、残りの必要単位を修得することによって卒業できます。

- (1) 転入生・編入生は前籍校で修得した単位を認めます。(ただし、一部例外もあります。)
- (2) 「高等学校卒業程度認定試験」または旧「大検」で合格した科目は、一定の条件の下で本校の単位として認めます。
- (3) 併設されている定時制課程の講座を受講して得た単位を、通信制課程の単位として認めます。
- (4) 英語検定や簿記検定等に合格すると、増加単位として認めます。

## ◎ 2 学期制

前期・後期の 2 学期制をとっています。学期ごとに単位を認定します。前期卒業(9 月)も可能です。

## ◎ 卒業の条件

次の条件をすべて満たすと卒業が認められます。

- (1) 修業期間が 3 年以上であること。転・編入生は前籍校と通算して修業期間が 3 年以上であること。
- (2) 必履修科目を含めて 74 単位以上を修得していること。
- (3) 定められた特別活動の時数を満たしていること。

# 令和7年度入学生の教育課程単位数表（C表）

宮崎県立宮崎東高等学校 通信制

教 科		科目等	標準 単位	本校 単位	1 年次	2 年次 以降	3 年次 以降	必修科目の条件と履修の説明
普 通 教 科	国語	現 代 の 国 語	2	2	②前			「現代の国語」 及び「言語文化」を修得
		言 語 文 化	2	2	②後			
		論 理 国 語	4	4		4		
		古 典 探 究	4	4		4		
	地歴	国 語 表 現	4	4		4		「地理総合」 及び「歴史総合」を修得 「日本史探究」「世界史探究」は「歴史総合」修得後に履修可
		地 理 総 合	2	2		②		
		歴 史 総 合	2	2	②			
		日 本 史 探 究	3	4		4		
	公民	世 界 史 探 究	3	4		4		「公共」を修得
		公 共	2	2	②			
	数学	政 治 ・ 経 済	2	2		2		「数学Ⅰ」を修得 ⅡはⅠを修得後に履修可
		数 学 Ⅰ	3	4	④			
		数 学 Ⅱ	4	4		4		
	理科	数 学 A	2	2		2		「科学と人間生活」及び「生物基礎」を修得。 ※「科学と人間生活」を修得 かつ 「物理基礎」・「化学基礎」から1科目修得、または「物理基礎」・「化学基礎」・「生物基礎」を3科目とも修得でも可
		科 学 と 人 間 生 活	2	2	②			
		物 理 基 礎	2	2		2		
		化 学 基 礎	2	2		2		
		生 物 基 礎	2	2	②			
	保体	生 物 物 理	4	4		4		「体育」7 単位以上修得かつ「保健」を修得
		体 育	7～8	7～8	②	②～④	①～④	
	芸術	保 健	2	2		②		「音楽Ⅰ」・「美術Ⅰ」・「書道Ⅰ」から1科目修得 ⅡはⅠを修得後に履修可
		音 楽 Ⅰ	2	2		②		
		音 楽 Ⅱ	2	2			2	
		美 術 Ⅰ	2	2		②		
		美 術 Ⅱ	2	2			2	
		書 道 Ⅰ	2	2		②		
	外国語	書 道 Ⅱ	2	2			2	「英語コミュニケーションⅠ」を修得 ⅡはⅠを修得後に履修可
		英 語 コミュニケーションⅠ	3	4	④			
	家庭情報	英 語 コミュニケーションⅡ	4	4		4		「家庭総合」を修得 「情報Ⅰ」を修得
		家 庭 総 合	4	4		④		
		情 報 Ⅰ	2	2		②		
専 門 教 科	商業	ビ ジ ネ ス 基 礎	2	2		2		
		簿 記	2～4	4		4		
	家庭	フ ード デ ザ イン	2～8	4		4		
合 計					～24	～28	～28	卒業には 74 単位以上必要
総合的な探究の時間			3～6	3～4	②	①～④		
特別活動					30 時間以上			

- 丸数字は必修科目，その他は自由選択科目。
- 体育は合計 8 単位まで履修可。
- 総合は合計 4 単位まで履修可。
- 各年次より低年次の科目のうち未修得の科目は自由に履修できる。

## 令和7年度の開講科目一覧

教 科	科目等	認定単位数		レポート回数		必要面接時数		放送視聴代替		備考
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
普 通 教 科	国語	現代の国語	2		6		2		1	前期のみ
		言語文化		2		6			1	後期のみ
		国語表現	2	2	6	6	2	2	0	0
		論理国語	2	2	6	6	2	2	1	1
		古典探究	2	2	6	6	2	2	1	1
	地歴	地理総合	1	1	3	3	2	2	1	1
		歴史総合	1	1	3	3	2	2	1	1
		日本史探究	2	2	6	6	2	2	1	1
		世界史探究	2	2	6	6	2	2	1	1
	公民	公 共	1	1	3	3	2	2	1	1
		政治・経済	1	1	3	3	2	2	1	1
	数学	数 学 I	2	2	6	6	2	2	1	1
		数 学 II	2	2	6	6	2	2	1	1
		数 学 A	1	1	3	3	2	2	1	1
	理科	科学と人間生活	1	1	3	3	4	4	2	2
		物 理 基 礎	1	1	3	3	4	4	2	2
		化 学 基 礎	1	1	3	3	4	4	2	2
		生 物 基 礎	1	1	3	3	4	4	2	2
		生 物 物	2	2	6	6	8	8	0	0
	保体	体 育 A	1		2		4+1		0	0
		体 育 B		1		2		4+1	0	0
		体 育 C	1		2		4+1		0	0
		体 育 D		1		2		4+1	0	0
		体 育 E	1		2		4+1		0	0
		体 育 F		1		2		4+1	0	0
		体 育 G	1		2		4+1		0	0
		体 育 H		1		2		4+1	0	0
		保 健	1	1	3	3	2	2	1	1
	芸術	音 楽 I	1	1	3	3	4	4	2	2
		音 楽 II	1	1	3	3	4	4	0	0
		美 術 I	1	1	3	3	4	4	0	0
		美 術 II	1	1	3	3	4	4	0	0
		書 道 I	1	1	3	3	4	4	0	0
		書 道 II	1	1	3	3	4	4	0	0
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	2	6	6	8	8	4	4
		英語コミュニケーションⅡ	2	2	6	6	8	8	4	4
	家庭	家 庭 総 合	2	2	4	4	4	4	2	2
	情報	情 報 I	1	1	2	2	2	2	1	1
専 門 教 科	商業	ビジネス基礎	1	1	3	3	4	4	2	2
		簿 記	2	2	5	5	4	4	0	0
	家庭	フードデザイン	2	2	4	4	4	4	0	0
総 合 的 な 探 究 の 時 間		総 合 A	1		2		2		0	前期のみ
		総 合 B		1		2		2	0	後期のみ
		総 合 D	1		2		2		0	前期のみ
		総 合 F		1		2		2	0	後期のみ

- \*の科目は本校のみで開講。(ただし、状況によっては協力校で開講する場合もある)
- フードデザインは前期・後期とも必要面接時数4時間のうち2時間は調理実習を受講する。
- 調理実習は本校のみで実施。
- 体育の必要面接時数の+1とは、自宅で視聴する「スポーツ観戦レポート」である。

# ■ 学校生活 ■

## ◎ 学期とテスト

前期 4月～9月 前期テスト 8月下旬～9月初旬の日曜日(計3日間)

後期 10月～3月 後期テスト 1月下旬～2月初旬の日曜日(計3日間)

## ◎ スクーリングの校時

### (1) 本校

校時	1・2	3・4	昼食	5	清掃	6・7
開始	9:00	10:45	12:20	13:05	13:50	14:10
終了	10:35	12:20	13:05	13:50	14:05	15:45
内容	面接指導	面接指導		特別活動		面接指導

### (2) 協力校

校時	1・2	3・4	昼食	5	6・7	清掃
開始	9:30	11:10	12:40	13:25	14:20	15:50
終了	11:00	12:40	13:25	14:10	15:50	16:00
内容	面接指導	面接指導		特別活動	面接指導	

## ◎ 課外活動

定時制・通信制体育大会や高等学校総合文化祭への出場をめざして、課外活動が行われています。令和6年度には全国定時制・通信制体育大会に、バドミントン部、卓球部、剣道部が出場しました。演劇部、放送部も活躍しています。

## ◎ 年間主要行事

4月	始業式(本校にて) 入学式(本校にて)	10月	スポーツフェスティバル(本校にて) 県高等学校総合文化祭
5月	入学生歓迎遠足 保護者説明会	11月	文化祭(本校にて)
6月	県定通体育大会	1月	後期テスト
8月	全国定通体育大会 前期テスト	2月	後期テスト 修学旅行(隔年実施・希望者のみ)
9月	前期テスト 前期卒業式(本校にて) 県生活体験発表大会・文化のつどい	3月	卒業式(本校にて) 来年度受講手続き(本校にて)

## ◎ 機関紙『通教みやざき』

『通教みやざき』は、皆さんの自学自習をサポートする機関紙です。学校と生徒をつなぐパイプ役として、年10回発行されています。内容は、学習や進路について、行事の紹介、人物紹介、学校からの連絡などです。

## ◎ レポート作成教室（楽々レポート教室）と学習会

通信制の学習は自学自習のため、レポートを作成するとき、分からないことも出てくるでしょう。そのため、スクーリングとは別に、特定の日（月に1回程度）に1年次科目を中心としたレポート作成教室『楽々レポート教室』を協力校のある地区（公民館等を利用）で行い、レポート作成の支援をしています。なお、協力校ではスクーリング日に協力校での自習室を準備しています。

本校では、休業日以外は、いつでも質問に答えるなど、レポート作成の支援をしています。

## ◎ 卒業生の進路

通信制は、全日制の学校と同じように、上級学校（大学・短大・専門学校など）を受験することができます。推薦入試等の希望者も年々増えています。卒業と同時に上級学校に進学するのは毎年40～60名程度です。国公立大学に進学する生徒もいます。

就職に関しても、就職希望者の支援を行っています。県内外から求人票が200社ほど来ます。

## ◎ 必要経費（年額1回払い）

令和7年度新入学生の例（転・編入学生は選択する科目によって経費が異なります。）

授業料	5,520 円（230 円×24 単位）ただし、就学支援金制度あり。
入学料	500 円（県収入証紙）
諸経費	9,010 円（教育振興費・信友会費・生徒会費 等）
教材費	16,321 円（教科書・学習書・副教材 等）

## ◎ 補助事業など

- (1) 修学奨励資金制度（月14,000円貸与）は、条件を満たして卒業すれば貸与金の返還が免除になります。
- (2) 教科書・学習書は、定められた条件を満たせば無償給与されます。
- (3) レポートは、郵便法により15円で郵送できます。
- (4) 所得税の勤労学生の特例（給与収入が130万円以下）があります。
- (5) JR割引回数券（スクーリング・学校行事参加のみ）があります。

## ■ 通信制課程の高校とは ■

### Q1 通信制の高校は、全日制の高校とどう違うのですか？

A 通信制高校は、自学自習を基本とする学校です。教科書や学習書、NHK 高校講座などで学習し、各教科のレポート(報告課題)を月 1～2 回程度提出します。提出されたレポートは、各教科の担当の先生が誤りを訂正したり、ヒントを書き加えたり(添削指導)して返します。勉強を能率よく進めるため、月 2 回程度スクーリング(面接指導)があります。積極的に参加すると理解を深めるのに役立ちます。

### Q2 毎日学校に登校するのですか？

A いいえ、自学自習が中心です。登校するのは、月平均 2 回程度、日曜日または月曜日に実施されるスクーリングの時だけです。本校を含めて、県内 4 か所の高校(願書記入例参照)のどこでもスクーリングを受けます。ただし科目ごとに決められた時数のスクーリングを受けなくてはなりません。科目によっては、NHK 高校講座を視聴し、放送視聴票を作成・提出することによってスクーリングの一部が免除されます。

### Q3 時間割はありますか？

A 1 年間の時間割が、年度当初に発表されます。その中で、自分の受講している科目に応じてスクーリングを選択して受けます。どの日のスクーリングを受けるかは、自分の都合に合わせて計画を立ててください。

### Q4 スクーリングの日は、必ず登校しないといけませんか？

A 科目ごとに、最低受講しなければならない時間数が決められています。その時数を満たせば、受講(登校)しなくても構いません。自分自身の都合に合わせて、計画を立ててください。ただし、十分に学習を深めるためには、登校して各科目の先生に直接指導を受ける方がよいでしょう。

### Q5 テストはあるのですか？

A 年に 2 回(前期と後期)あります。科目ごとに決められた回数のレポートを定められた期日までに提出して合格し、必要なスクーリング時数を満たすと、テスト受験資格が認められます。(テストのない科目もあります。)

## Q6 クラスはありますか？

- A 本年度は本校 12 クラス・都城4クラス・小林1クラス・日南1クラスの 18 クラスがあります。各クラスには担任がつきます。ただし、どの地区のクラスに所属するかは、入学時に自分で最も都合のよい地区を選択して登録してください。なお、スクーリングはどこの地区で受けてもかまいません。ただし、選択科目の中には地区によってスクーリングが実施されないものもあります。その科目については、宮崎東高校に登校してスクーリングを受けることになります。

## Q7 他の学校で修得した単位も認められますか？

- A 転入学生・編入学生の場合のみ認められます。転入学生・編入学生のどの単位を認めるかは、宮崎東高校の規程により判断します。なお、すべての入学生において高等学校卒業程度認定試験や旧大検で合格した科目を、一定の条件の下で、本校入学時に単位として認める制度もあります。

## Q8 どうすれば卒業できますか？

- A 新入学生 3 年以上、転入学生・編入学生は前籍校通算で 3 年以上在籍し、必修科目を含めて 74 単位以上を修得し、定められたホームルーム活動や学校行事等の特別活動の時数を満たすと卒業が認定されます。単位は、科目ごとにレポート・スクーリング・テストに関する条件を満たすと修得できます。また、高等学校卒業程度認定試験で合格した科目を単位として認める制度もあります。

## Q9 卒業するのに何年かかりますか？

- A 新入学者は 3 年以上で卒業できます。転入学生・編入学生は前在籍校と通算で 3 年以上の在籍で卒業できます。4 年以上かけて自分のペースで卒業しても構いません。

## Q10 通信制を卒業した後、進学できますか？

- A 毎年 40～60 名程度が進学しています。全日制の高校と同様に、条件を満たせば推薦入試等を受験することもできます。また、国公立大学に進学する生徒もいます。

## Q11 入学料，授業料，教材費など必要経費はどのくらいですか？

- A 令和7年度の新入学生の例を 7 ページに掲載していますのでご覧ください。